

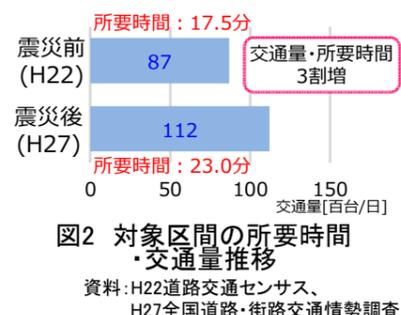
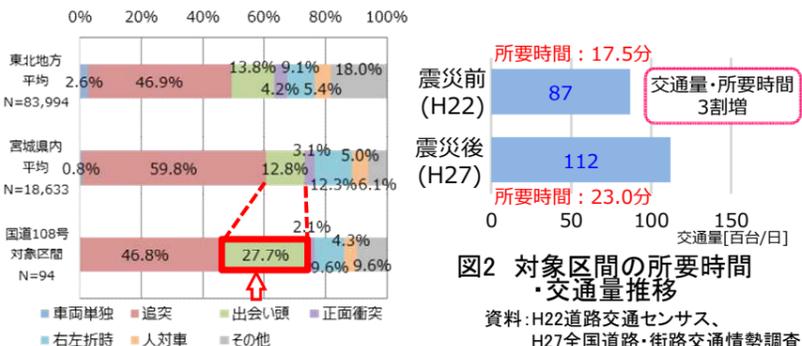
一般国道108号 石巻河南道路における計画段階評価

1. 石巻河南地区の課題

①主要幹線道路としての走行性及び安全性が低下

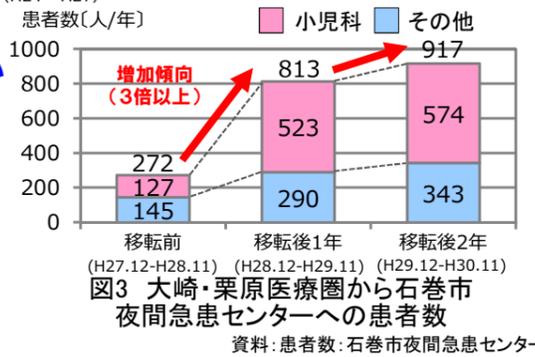
○幅員狭小区間、直角曲がり交差点が存在し、追突事故等が多発しており、道幅が狭くカーブが多い区間では、出会い頭の事故も発生。(図1、7)

○震災後、工業用地や市街地が内陸部へ移転したことにより、交通量・所要時間は3割増加しており、主要幹線道路としての走行性及び安全性の低下が課題。(図2)



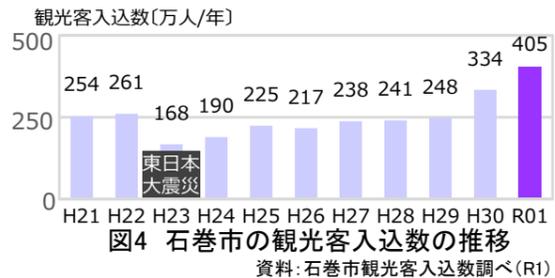
②三次救急医療施設への安定した救急搬送路がない

○宮城県北地域で唯一小児科がある、石巻市夜間急患センターは、移転後に患者数が3倍以上に増加。(図3)
○国道108号は幅員が狭く、追い越しが難しいため、スムーズな搬送に支障。



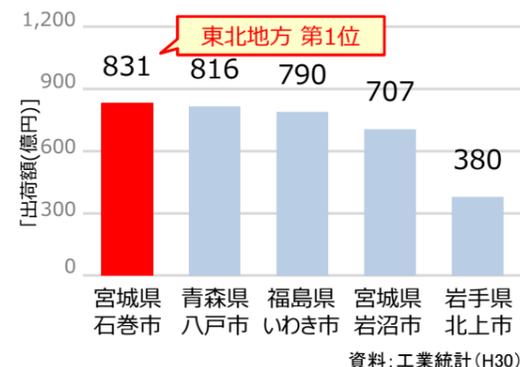
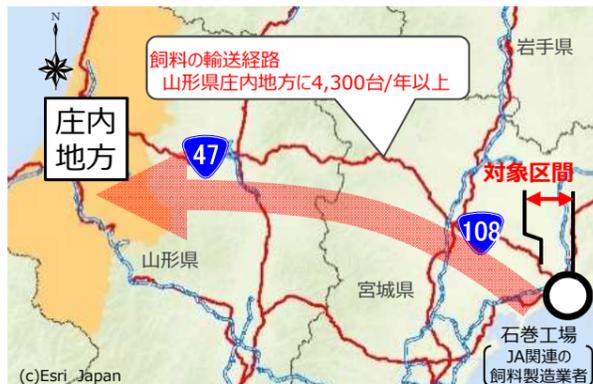
③主要観光地への連絡性が悪い

○新たな観光拠点が中心市街地に形成され、入込客数が増加。(図4)
○内陸部から中心市街地へのアクセスには幅員狭小区間を通過するため、主要観光地への連絡性確保が課題。



④広域的な輸送を支える幹線道路が不足

○飼料やパルプ・紙・紙加工品の石巻港から内陸方面への輸送経路として、幅員狭小、直角曲がり区間を通過するため、速度が低下するほか、車両サイズを下げての輸送が必要となるなど、大型車の走行に支障。(図5、6)
○大型車等の広域的な輸送を支える幹線道路の確保が課題。



⑤緊急輸送道路として脆弱

○内陸からの緊急輸送が必要な時、狭隘区間を抱えた経路となり、災害時にも機能する信頼性の確保が課題。

2. 原因分析

①狭隘区間に大型車が流入

○物流道路としての利用が多く、狭隘部に大型車が流入。(写真1、2)



②救急搬送に適さない現道

○河南地区からの出勤、搬送時に幅員狭小区間を通過。



③内陸部から中心市街観光地への経路上に幅員狭小区間が存在

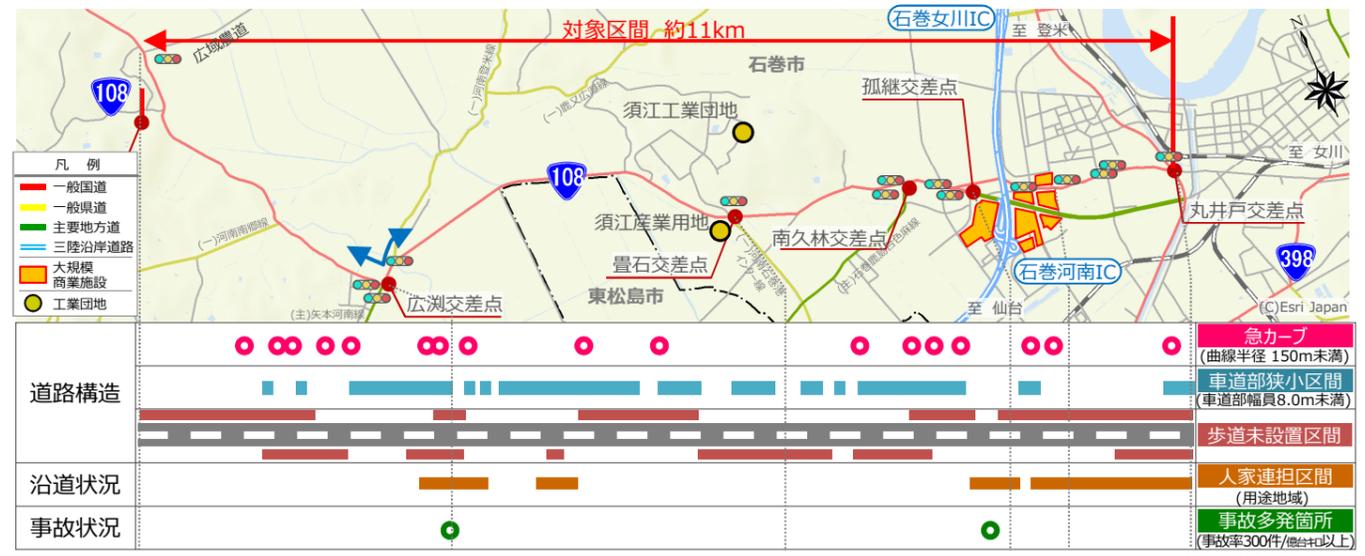
○内陸部と中心市街地を連絡する観光交流の場合、幅員狭小区間を通過。

④広域的な輸送に適した幹線道路が不在

○内陸部への輸送には、隘路区間の通過が伴うため、大型車等の広域交通に適した幹線道路がない。(写真1、2)

⑤信頼性の高い緊急輸送道路が不在

○内陸部と石巻を結ぶ信頼性の高い緊急輸送道路がない。



3. 政策目標

- ①幹線道路としての走行性及び安全性の確保
- ②三次救急医療施設へのアクセス性強化
- ③観光交流を支えるネットワークの確保
- ④地域産業を支える幹線道路の確保
- ⑤防災拠点への輸送確実性

一般国道108号 石巻河南道路における計画段階評価

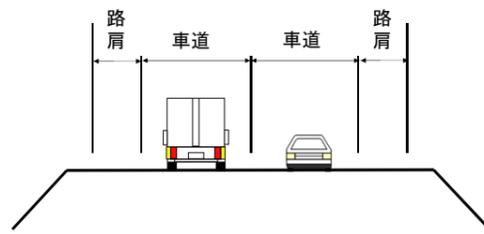
4. 対策案の検討

評価軸		【案①】全線バイパス案 約8km ＜設計速度60km/h＞	【案②】全線バイパス案(港アクセス考慮) 約9km ＜設計速度60km/h＞	【案③】現道拡幅・バイパス併用案 約8km ＜設計速度60km/h＞
ルート概要		・全線バイパスにより、石巻女川ICに最短で接続する案	・石巻港へのアクセスを考慮し途中で県道に接続、さらに石巻女川ICにバイパスで接続する案	・石巻港へのアクセスを考慮しバイパスで県道に接続、さらに石巻河南ICに向け現道拡幅する案
政策目標	幹線道路としての走行性及び安全性の確保	・バイパス整備により、現道との交通分担を図り、走行性と安全性を確保	○	○
	三次救急医療施設へのアクセス性強化	・石巻赤十字病院に直結し、所要時間が短縮	◎	◎
	観光交流を支えるネットワークの確保	・石巻市街地の主要観光地へのアクセスに変化はない	△	△
	地域産業を支える幹線道路の確保	・石巻港や須江地区とのアクセス性に变化はない	△	○
	防災拠点への輸送確実性	・バイパス整備により圏域防災拠点への輸送確実性を確保	◎	◎
配慮すべき事項	土地利用への影響	・全線バイパスにて整備され、集落を回避 ・支障家屋数：約30軒*	◎	△
	自然環境への影響	・全線がバイパスにて整備されるため、地形の改変に伴う影響がある	△	△
	事業費*	整備に関する費用	約260～310億円	約230～280億円

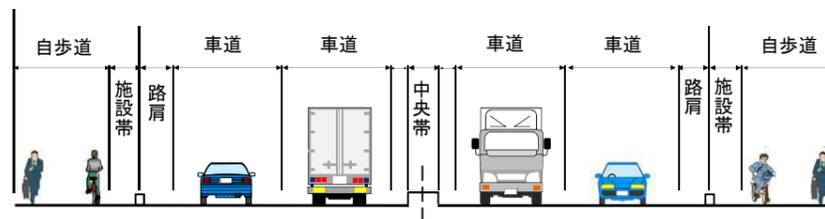
※ 現時点での概算であり、今後のルート検討、土地利用状況等により数量・金額が変更となる場合がある。

標準横断面

- 【案①】全線バイパス案
- 【案②】全線バイパス案(港アクセス考慮)
- 【案③】現道拡幅・バイパス併用案



- 【案③】現道拡幅・バイパス併用案



対策方針(案): 案③現道拡幅・バイパス併用案による対策が妥当【計画概要】

- ・路線名: 一般国道108号
- ・区間: 宮城県石巻市蛇田～同石巻市北村
- ・概略延長: 約8km(現道拡幅区間: 4車線、設計速度60km/h
バイパス区間: 2車線、設計速度60km/h)
- ・概ねのルート: 図8 案③現道拡幅・バイパス併用案ルートの通り

(参考)当該事業等の経緯

■地元調整等の状況

- 平成30年1月 第1回計画段階評価
- 平成30年8月～10月 第1回地域の意見聴取
- 令和元年12月 第2回計画段階評価
- 令和2年2月～3月 第2回地域の意見聴取
- 令和2年7月 第3回計画段階評価
- 令和3年2月 都市計画変更の告示

■地域の要望等

- 令和元年 8月 石巻市長が早期事業化を要望
- 令和元年10月 石巻新庄地域高規格道路建設促進期成同盟会が早期事業化を要望
- 令和元年11月 三陸縦貫自動車道・アクセス道路建設促進期成同盟会が早期事業化を要望
- 令和2年 7月 宮城県知事が早期事業化を要望
- 令和2年10月 宮城県知事が新規事業化を要望
- 令和2年11月 石巻市長・石巻市議会が新規事業化を要望
- 令和2年11月 石巻・新庄地域高規格道路建設促進期成同盟会が新規事業化を要望
- 令和2年11月 三陸縦貫自動車道・アクセス道路建設促進期成同盟会が新規事業化を要望
- 令和3年 2月 宮城県知事・石巻市長が新規事業化を要望

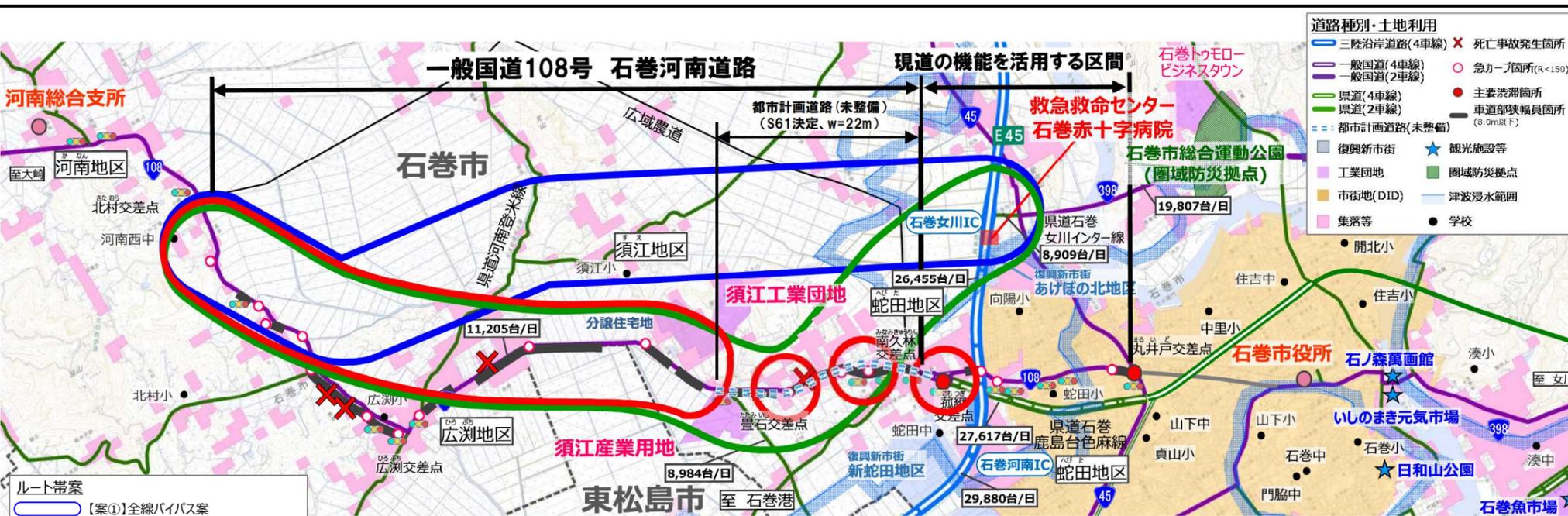


図8 石巻市河南地区における対策検討